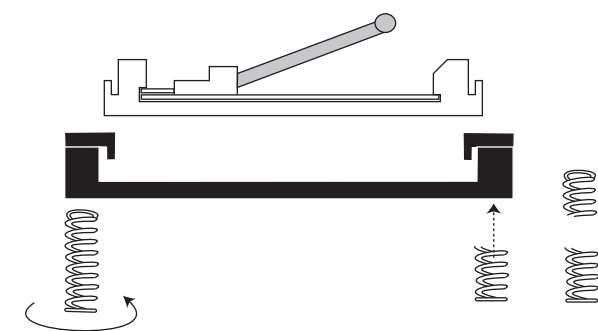


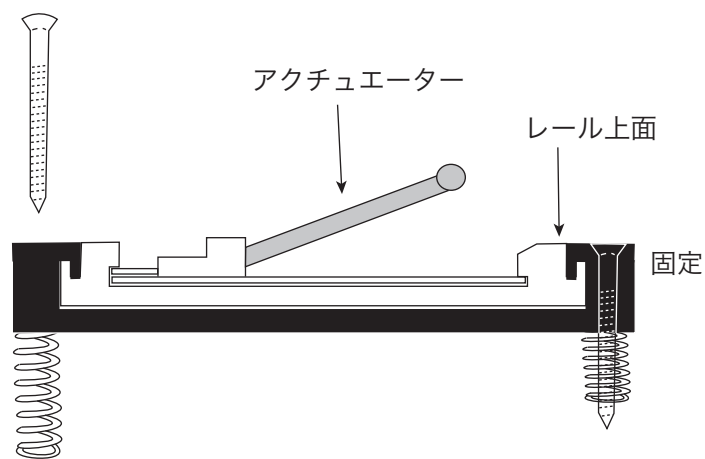
Magic Star MK-1 キーセンサーの取付

長さを決定したスプリングを先にプレートへ付けた後にセンサーレールへスライドさせます。



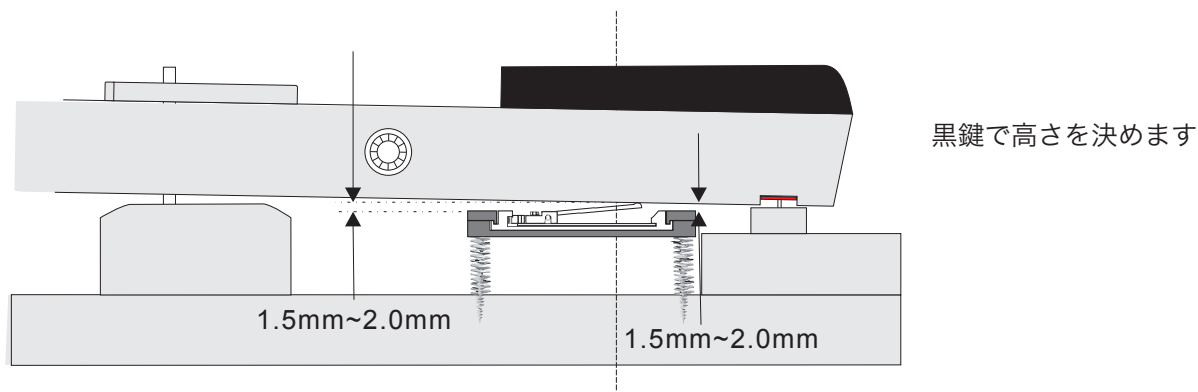
半時計回りに
回し入れる

長い場合は切ります。
切り口が鋭いので、切った方を
プラスチックにはめます



アップライトは前後5ヶ所固定する

センサーレールの上面と黒鍵下面が前後とも 1.5mm~2.0mm 程度の隙間

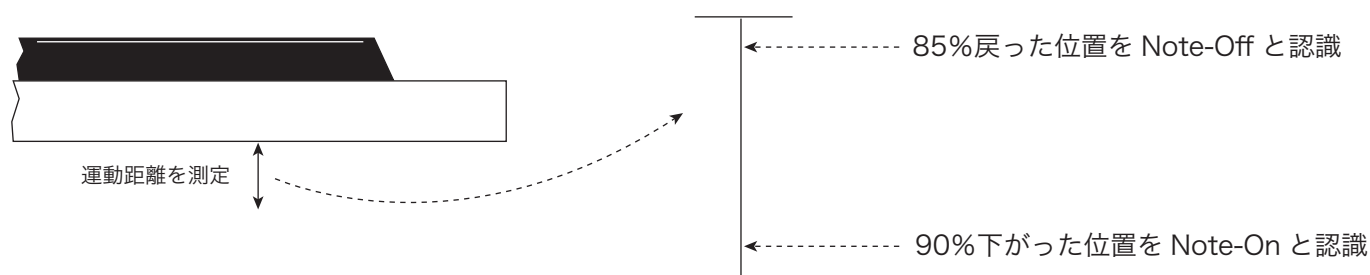


初期設定方法はお客様用取扱い説明書に記載されていますので、そちらをご覧ください。

Magic Star MK-1 初期設定システムについて

ユニット初期設定の概略

初期設定作業をすることにより鍵盤に連動したアクチュエーターが個々の鍵盤の上下の運動距離を測定します。
その距離内に Note-On と Note-Off の位置を設定します。



Note-On : 音が鳴る

Note-Off : 音が消える

初期設定後に音がうまく鳴らない、もしくは音がずっと残る場合

1 音が鳴らない（鳴りにくいが強く弾くと鳴る）

まず鍵盤を上げてアクチュエーターだけを下げても音を鳴らして見てください。

アクチュエーターだけを押し下げると音が鳴る場合は鍵盤と連動させた時に Note-On の位置まで鍵盤が押し下げられていないと推測されます。

初期設定時に鍵盤を強く押し下げると Note-On の位置も下がるので、軽く弾いた時に音が出にくいことがありますので、初期設定時強く弾かずには普通のアガキ位置までさげてください。

2 サステーンがかかったままのように切れない

切れない鍵盤を少しだけ持ち上げてください。これで音が切れる時は Note-Off の位置が高く認識されていると推測されます。

初期設定時にいきおいよく鍵盤が跳ね上げると、高くなった位置を測定することがあります。

初期設定時は鍵盤があまり跳ねないように鍵盤を上げてください。

重要：Note-Off を認識しなくともピアノ音ですので自然と減衰しますので、音はいずれ消えますが、

この場合完全に Note-Off ではないために次に打鍵をしても Note-On にはなりません。

次項に述べる Note-On を再調整するのか Note-Off を再調整するのかを見極めてください。

3 初期設定後に数鍵だけがうまく認識されない場合、1 キーだけを初期設定することができます。

A-1 Rec を押しながら電源を入れます。（終了後には必ず、再度 Rec. ボタンにてメモリーさせてください。）

A-2 調整しようとする該当キーの半音下のキーを押さえると Key NO. が表示されます。鍵盤を離し Mode + Metr. ボタンを押します。

Mode + Metr. ボタンを押すと調整しようとする、該当鍵盤の Key No. に変わります。

A-3 該当キーを最後までゆっくり押し下げて、またゆっくりと戻します。

A-4 Metr. ボタンだけを押しします。（認識させます）

A-5 該当鍵盤を弾いてみますと音が鳴り、キー No. と感度レベルが表示されます。

4 上記手順にて設定を行っても Note-On-Off の位置がうまく設定できない場合は個々のキー別に On-Off 位置を設定します。

鍵盤感度調整モード（Rec を押しながら電源を入れます。）にて作業します。

B Note-On 位置の変更設定

B-1 該当鍵盤を一度押して戻します。（鍵盤指定）

B-2 該当鍵盤を Note-On を望む位置で止めて、Mode + Effect ボタンを押します。

C Note-Off 位置の変更設定

C-1 該当鍵盤を一度押して戻します。（鍵盤指定）

C-2 該当鍵盤を Note-Off を望む位置で止めて、Mode + Sound ボタンを押します。

全て完了しましたら Rec. ボタンを押しますとメモリーされます。

注：もし Note-On-Off 位置を初期設定作業にてうまく認識しない場合はまず3の1キー設定から実行ねがいます。

上記作業はセンサーが規定範囲の高さに取付けられていることが条件です。